

■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

○法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	H27	90,732	0	1,264,956	△ 1,174,224	0	△ 1,174,224	624,048	-
	H26	67,507	0	1,211,064	△ 1,143,557	0	△ 1,143,557	580,951	-
病院事業	H27	756,632	82,632	1,305,186	△ 465,922	0	△ 465,922	6,076,405	-
	H26	887,770	74,960	1,307,518	△ 344,788	0	△ 344,788	5,941,134	-

○法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
簡易水道事業	H27	1,434,057	0	1,492,609	△ 58,552	0	△ 58,552	511,606	-
	H26	1,419,727	0	1,484,858	△ 65,131	0	△ 65,131	482,368	-
集落排水事業	H27	405,808	0	430,824	△ 25,016	0	△ 25,016	98,232	-
	H26	382,282	0	401,369	△ 19,087	0	△ 19,087	97,678	-
公共下水道事業	H27	2,500,870	0	2,552,616	△ 51,746	0	△ 51,746	347,977	-
	H26	2,883,784	0	2,924,565	△ 40,781	0	△ 40,781	333,464	-
浄化槽整備事業	H27	236,636	0	250,491	△ 13,855	0	△ 13,855	37,446	-
	H26	223,324	0	233,051	△ 9,727	0	△ 9,727	34,556	-
市民太陽光発電所事業	H27	92,116	0	106,962	△ 14,846	0	△ 14,846	43,855	-
	H26	31,582	0	45,357	△ 13,775	0	△ 13,775	27,335	-

○法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解消可能 資金不足額 ⑧	資金不足額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	H27	189,385	0	191,746	338,084	588,142	0	0	0	0	588,142	-
	H26	191,475	0	193,921	459,500	769,070	0	0	0	0	769,070	-
宅地造成事業	H27	33	0	45,068	2,131	0	0	△ 47,166	0	△ 47,166	45,035	-
	H26	20	0	45,081	2,349	0	0	△ 47,410	0	△ 47,410	47,410	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

※資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)